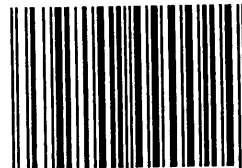




| | |
|---------------|--------|
| 1999年3月改訂 | |
| 日本標準商品分類番号 | 872344 |
| 承認番号61AM第410号 | 薬価基準収載 |
| 薬効分類名 | 制酸剤 |



日本薬局方 炭酸水素ナトリウム

【効能・効果】

（経口）

○下記疾患における制酸作用と症状の改善。

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬毒性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。

○アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。

（含嗽・吸入）上気道炎の補助療法（粘液溶解）

【用法及び用量】

炭酸水素ナトリウムとして、通常成人1日3～5gを数回に分けて経口投与する。含嗽・吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

（経口・含嗽・吸入）

（1）禁忌（次の患者には投与しないこと。）
ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等）【ナトリウム貯留増加により症状が増悪するおそれがある。】

- （2）次の患者には、慎重に投与すること
1. 重篤な消化管潰瘍のある患者【症状が悪化するおそれがある】
 2. 腎障害のある患者【ナトリウム貯留による浮腫が現れることがある】
 3. 心機能障害、肺機能障害のある患者【アルカローシスを招き、症状が悪化することがある】
 4. 低クロル性アルカローシス等の電解質失調のある患者【症状が悪化することがある】

- （3）相互作用 併用注意
1. 併用薬【消化管内・体液のpH上昇により、併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある】

2. 牛乳、カルシウム製剤【大量の牛乳、カルシウム製剤との併用により milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）が現れることがあるので、観察を十分に行い、このような症状が現れた場合には中止する】

（4）副作用

1. 代謝異常：アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等が現れることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行う。
2. 消化器：ときに胃部膨満、また、まれに胃酸の反動性分泌等が現れることがある。

- （5）高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意する。

製造番号